

学校名 川口市立中居小学校
所在地 川口市南鳩ヶ谷2丁目1番1号
電話 048-281-3322

1 本校の概要

本校は、開校 64 年目をむかえ、交通の便がよい住宅街にある。児童の自己肯定感を高める取組の一つとして、読書に重点を置き、豊かな心の醸成に努めている。昨年度、学校図書館の床をカーペットから上履きそのまま入館できるよう全面改修した。また、新着図書、子供たちの興味をひく本を入り口付近に配置するなど、「入りたい・寄ってみたいくなる」学校図書館にイメージチェンジを行った。また、図書のバーコードの準備も着々と進んできた。今年度は、「楽しい・居心地のよい」学校図書館づくりを推進し、読書好きな子、読書習慣を身に付けた児童の育成を図った。

2 本校の実践

(1) 本好きな児童の育成

～ 図書館イベントの企画 ～

- ア 読書ビンゴ
- イ 読書すごろく



本を借りるとサイコロが振れる。ゴールすると2冊借りられる

～ 図書委員会の活動 ～

- ア おすすめ本のポップづくり
- イ キッズトーク (図書委員による読み聞かせ)

☆全校で読み聞かせを重視する

- ウ シャッフル・トーク
(教職員が他学級で読み聞かせ)
- エ 学校図書館司書による読み聞かせ

～ 教職員・児童に向けて ～

毎月、今月の図書活動を紹介する通信「よもよも」を司書教諭が発行し、啓発を図っている。

(2) 学校図書館とのつながりを意識したコーナーの充実

学校図書館内を明るくし、児童が立ち寄りたいたいと思う雰囲気にしたとともに、「読書貯金」活動を充実させた。また、校内の至るところに「本」を置くことで、児童が身近に本に触れられるようにし、「もっと知りたい」「読んでみたい」という意欲の喚起を図った。



校長室前に「読書貯金」の記録や読んでほしい学校図書館にある「本の紹介」を掲示



世界の問題に目をむけて「SDGs」関連読み物も紹介

(3) 充実した学校図書館



「キリン」のラック

畳に座って、ベンチに座って、のんびり読書

3 成果と今後の課題

(1) 成果

学校図書館でのイベント、読書貯金の取組により、児童の読書量が増えた。また、国語科(物語)の授業など各教科でも学習の場として活用する時間が増えてきた。学校図書館が「読書センター」の機能だけでなく、徐々に「学習・情報センター」としての機能を有するようになった。また、教職員自らが、学校図書館のよさに気づき、意図的に活用していく姿が見られるようになった。

(2) 課題

学校が、より読書の推進に向けて適切な選書を行い、子供たちに広めていけるようなシステムを構築していく。さらに、学校図書館環境の整備、バーコード化に向けての準備、時事ニュース等の情報を発信する場としての機能を高め、調べ学習の充実(の仕方)などに取り組んでいく。

(3) おわりに

本校の学校図書館は、学校図書館司書を中心に図書ボランティアの協力を仰ぎながら運営されている。令和2年度は、年度当初の図書館利用のためのオリエンテーションを充実させ、バーコード化を定着させる。3つ(読書・学習・情報)のセンター機能のバランスの取れた学校図書館づくりを目指していく。